

プロジェクトデザインマトリクス (PDM) : Kenya Medical Training College (KMTCC) Project

第4版 (2001.10.12改訂)

プロジェクト実施期間: 1998.3.1 to 2003.2.28

改訂履歴: 初版 (1998.1)、一次改訂 (1999.3)、二次改訂 (2000.3)

プロジェクトの対象: KMTCC

2. PDM (和訳)

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標 有能なコメディカルの人材がケニアで育成される	約2000人の有能なコメディカルの人材が毎年KMTCCを卒業する	KMTCC卒業生の名簿 保健労働者の国家統計	ケニアでのコメディカルの人材への需要が現在と同じレベルにある
プロジェクト目標 KMTCCの教育能力が改善される	1. 教育能力調査の結果が改善される 2. 教員の教育実践に関する自己評価(目標設定のこと) 3. KMTCCを卒業する生徒が最終教育実践評価で許容できるよりも高い評価を付ける(目標設定のこと)	1. 教育能力調査の結果 2. 教員の自己評価質問調査の結果 3. 生徒による教員の教育実践評価に関する質問調査の結果 参考基準データ: Institutional Analysis (1998)	ケニア政府がKMTCCの使命支援を継続する ケニア国の政治経済条件の安定度が現状と変わらない KMTCCが生徒による先生の教育実践評価を評価ガイドラインに沿って実施する
成果(品) 1. 教員が教育法に関する能力を身につける 2. 教育カリキュラムがレビュー・開発される	1.1 教員の使用する教育法の種類が増える(目標設定のこと) 1.2 教育支援(資機材・教材等)の種類が増える(目標設定のこと) 1.3 試験合格者数が上昇する(増加率20%) 1.4 教員の教育実践に満足する生徒の数が70%となる 1.5 教員の教育実践にKMTCC経営陣が満足する 2.1 基本教育プログラムすべての教育カリキュラムがレビューあるいは開発される	1.1 生徒による教員の教育実践評価に関する質問調査での教育法に関するチェックリスト 1.2 教育支援(資機材・教材等)の使用チェックリスト 1.3 試験結果分析シート 1.4 生徒による教員の教育実践評価に関する質問調査の結果 1.5 経営陣による教育実践評価報告書 2.1 教育カリキュラムのレビュー・開発ガイドラインに関する報告書ならびに、レビューあるいは開発された教育カリキュラムの最終版	教育訓練を受けた教員がKMTCCで継続して働く

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>3. 教材の開発と利用が増加している</p> <p>4. 教員がさまざまな保健教科に関する中心知識・技術を身につける</p> <p>5. より多くの教員が研究の実施および教育に関する能力を身に付ける</p> <p>6. ITインフラが整備され維持管理される</p>	<p>2.2 半期ごとに全学カリキュラムレビュー・開発委員会が開催される</p> <p>3.1 各教材の授業での使用回数（目標設定のこと）</p> <p>3.2 作成された教材数（目標設定のこと）</p> <p>3.3 全教員が教材を使用する</p> <p>4.1 保健関係の教科に関して適切な中心知識・技術を取得した教員数が全教員の40%に達する</p> <p>5.1 研究を実施した教員数が50%増加する</p> <p>5.2 自分の教科に関する研究について教育できる教員数が30%増加する</p> <p>5.3 学会での研究発表が倍増する</p> <p>5.4 教員による研究出版が10行われる</p> <p>6.1 LAN・インターネットに接続されたパソコンが教員5人に1台の割合で利用できる</p> <p>6.2 教員10人に1名の割合までITサポートスタッフが増加する</p>	<p>2.2 全学カリキュラムレビュー・開発委員会の議事録と報告書</p> <p>3.1 生徒の評価記録</p> <p>3.2 作成教材の記録</p> <p>3.3 教師による自己評価</p> <p>4.1 以前・以後形式による教員への質問表の結果</p> <p>5.1 研究実践に関する質問票を使ったKMTC経営陣による年次評価報告書</p> <p>5.2 各教科で研究を教えることのできる教員のリスト</p> <p>5.3 教員の学会での研究発表リスト</p> <p>5.4 出版された教員による研究発表のリスト</p> <p>6.1 IT機器の在庫表 評価調査報告書</p> <p>6.2 IT活動報告書</p>	<p>教員の能力がPCMワークショップによって作成された能力リストによって評価される</p>

<p>7. 教員がIT使用能力を身に付ける</p> <p>8. 教育環境が改善され維持管理される</p> <p>9. 教員に対するMLMTプログラムが毎年実施される</p>	<p>7.1 ナイロビ校教員の70%がIT基礎コースを受講する</p> <p>7.2 ナイロビ校教員の50%がコンピューターを使用する</p> <p>7.3 教員が受講可能なITコース数が増える(目標設定のこと)</p> <p>8.1 必要な実験教室数の80%が用意される</p> <p>8.2 教員の90%が供給された書籍を満足して使う</p> <p>8.3 教員の90%が教育資機材を使用する</p> <p>8.4 電力供給や輸送力などの支援インフラが改善される</p> <p>9.1 MLMTプログラムを受講した教員数が増加する</p>	<p>7.1 コース参加者のリストならびに成績</p> <p>7.2 評価調査報告書 使用者記録</p> <p>7.3 実施されたITコースの予定表</p> <p>8.1 ニーズサーベイの報告書</p> <p>8.2 教員への質問分析</p> <p>8.3 教員への質問分析</p> <p>8.4 在庫調査</p> <p>9.1 MLMT報告書 MLMT委員会の議事録</p>	
<p>活動 教育法</p> <p>1.1 ニーズアセスメントを実施する</p> <p>1.2 トレーニング計画・プログラムを開発する</p> <p>1.3 教育ガイドラインを整備する</p> <p>1.4 日本人専門家による教育法の技術移転を実施する</p> <p>1.5 トレーニングのためのワークショップ・セミナー活動を組織制度化する</p> <p>1.6 教育法に関するMLMTを開催する</p> <p>1.7 教育実践に関するフィードバックセミナーを実施する</p> <p>1.8 生徒による教員の教育実践評価のためのチェックリストを作成する</p> <p>1.9 試験結果の分析を行う</p>	<p>投入 日本側</p> <p>A. 専門家</p> <p>1. 活動に必要な長・短期専門家</p> <p>2. カウンターパートトレーニング</p>	<p>ケニア側</p> <p>A. 現地経費と人員</p> <p>1. 活動に必要な現地経費とカウンターパート</p> <p>2. 地域社会動員に関する教員教育</p> <p>3. カウンセリングに関する教員教育</p>	<p>教員トレーニングプログラム・方針が組織制度化される</p> <p>長・短期専門家が適切な時期に派遣される</p> <p>日本で支援に適した機関が見出される</p> <p>資機材等の引渡しが必要な時期に行われる</p> <p>KMTCが適切な予算と資源を適切な時期に提供する</p>

<p>1.10 生徒による教員の教育実践評価のための質問票を作成する</p> <p>1.11 学校経営陣による教員の教育実践評価を実施する</p> <p>1.12 教育支援（機材・教材等）使用目標量を設定する</p> <p>1.13 教育法の多様性に関する目標を設定する</p> <p><u>カリキュラム</u></p> <p>2.1 完全に機能する全学カリキュラムレビュー・開発委員会を設立する</p> <p>2.2 全学カリキュラムレビュー・開発委員会のTORを作成する</p> <p>2.3 各学部の学部内カリキュラムレビュー・開発委員会を設立する</p> <p>2.4 学校に対するニーズのアセスメントを実施する</p> <p>2.5 カリキュラムレビュー・開発活動に必要な資源を確認する</p> <p>2.6 カリキュラムレビュー・開発面で教員のトレーニングする</p> <p>2.7 学部に対するニーズのアセスメントを実施する</p> <p>2.8 カリキュラムのレビュー・開発を行う</p> <p>2.9 カリキュラムの評価を行う</p> <p><u>教材</u></p> <p>3.1 新しい教材の調査を行う</p> <p>3.2 教材に関する現況調査を実施する</p> <p>3.3 作成する教材を決める</p> <p>3.4 教材作成に必要な機材を選定する</p>	<p>B. 資機材</p> <p>書籍、雑誌、至急品、コンピューター（含むサーバー）、ソフトウェア、プリンター、無停電減、発電機、ターミナルアダプター、ルーター、ケーブル等（仕様と数量はプロジェクトの個別の必要に応じる）</p> <p>*以下の項目を含む諸々の現地費用： 場所と設備・施設、教員と支援職員の給与、電気・ガス・水道料金などの公共料金、JICAの供与した設備・施設、車両および諸機材の維持管理費</p>	<p>前提条件</p> <p>日本政府が現在と同じ水準のプロジェクトに対する支援を継続する</p> <p>ケニア政府ならびにKMTCがプロジェクトの支援を継続する</p>
--	--	--

<p>3.5 機材を購入する 3.6 機材使用に関する教育訓練をする 3.7 教員に教材の作成・開発方に関する教育訓練をする 3.8 教材を作成する 3.9 教材開発システムを確立する 3.10 機材の予防的維持管理を組織制度化する 3.11 教材の作成・利用状況に関するモニタリング・評価を実施する 3.12 目標を設定する</p> <p><u>中心知識・技術</u></p> <p>4.1 教員トレーニングに関するニーズアセスメントを実施する 4.2 各学部で継続教育の短期コースを実施する 4.3 各学部でトレーニングニーズを確定する 4.4 KMTC 内で教員教育に必要な資源を動員する 4.5 教員の成長に適切な教育訓練機関を選定する 4.6 各プログラムの評価を行う 4.7 海外教育訓練のスポンサーとなる可能性のある機関の特定を行う 4.8 海外教育訓練の対象となる教員を募集する 4.9 フォローアップ調査の質問表を作成する 4.10 適切な中心知識・技術に関する標準を設定する</p>		
---	--	--

171

<p><u>研究</u></p> <p>5.1 研究委員会を設立する</p> <p>5.2 研究手法に関する教育訓練のニーズアセスメントを実施する</p> <p>5.3 研究に関する教育訓練プログラムを作成する</p> <p>5.4 研究手法に関する教育訓練を実施する(含むMLMT)</p> <p>5.5 研究報告書作成のトレーニングを実施する</p> <p>5.6 KMTCとKEMRIのKiberaでの栄養に関する共同研究を実施する</p> <p>5.7 MLMTでコミュニティーに根ざした研究に関する学習を実施する</p> <p>5.8 研究活動を実行する</p> <p>5.9 教員の研究実践に関する調査票を作成する(KMTC経営陣による)</p> <p>5.10 教員の研究実践に関する質問調査を実施する(KMTC経営陣による)</p> <p><u>ITインフラの整備と維持管理</u></p> <p>6.1 ITに関する現況とニーズ調査を実施する</p> <p>6.2 IT組織とサポートシステムを確立する</p> <p>6.3 基幹人員を育成する</p> <p>6.4 パソコンを調達する</p> <p>6.5 LANを設置する</p> <p>6.6 インターネットに接続する</p> <p>6.7 支部校にITサービスを供与する</p> <p>6.8 KMTCでのIT状況を評価する</p> <p>6.9 MLMT活動を支援する</p>		
---	--	--

IT使用能力

- 7.1 ITに関する現況とニーズ調査を実施する
- 7.2 ITコースの内容と日程を計画する
- 7.3 コンピューターコースに関する標準教材を作成する
- 7.4 教員へのITコースを実施する
- 7.5 MLMTのコンピューターコースを実施する
- 7.6 実習教育を実施する
- 7.7 KMTCのIT使用状況を評価する

教育インフラの整備と維持管理全般

- 8.1 教育インフラ全般にかかわる維持管理システムを確立する
- 8.2 教育インフラに関する満足度調査質問表を作成する
- 8.3 教育インフラに関する満足度調査を実施する

実験棟

- 8.4 教室・実験室に関するニーズ調査を実施する
- 8.5 実験棟のデザイン・スペック作成を要請する
- 8.6 建物を建設する
- 8.7 建物の引渡しを受ける
- 8.8 建物を登録する
- 8.9 予防的維持管理を実施する

技術書

- 8.10 各部より必要書籍の要請書を集める
- 8.11 書籍を取得する
- 8.12 図書館内に適切な場所を設ける
- 8.13 分析に必要な質問表を作成する

<p>教育機材</p> <p>8.14 学部からの要請書を集める</p> <p>8.15 機材を取得する</p> <p>支援設備・施設</p> <p>8.16 必要な支援設備・施設を特定し購入する</p> <p>8.17 購入設備・資材を設置する</p> <p>「プロジェクト目標」の「指標」関連</p> <p>8.18 教育能力調査質問表を作成する</p> <p>8.19 教育能力調査を実施する</p> <p>8.20 生徒による教員の教育実践評価を実施する</p> <p>8.21 教員による自己評価質問表を作成する</p> <p>8.22 教員による自己評価を実施する</p> <p>8.23 目標（「指標」）を設定する</p> <p>MLMT</p> <p>9.1 MLMT委員会をKMTC内に設立する</p> <p>9.2 必要な予算を付与する</p> <p>9.3 MLMTコース実施の通知を行う</p> <p>9.4 MLMT実施に関する現況・ニーズ調査を実施する</p> <p>9.5 MLMTのテーマとして適切なものを特定する</p> <p>9.6 特定テーマに関するMLMT用のカリキュラムを作成する</p> <p>9.7 必要資機材を購入する</p> <p>9.8 実演説明・実地研修にふさわしい地区を選定する</p> <p>9.9 MLMTプログラムを実施する</p> <p>9.10 各プログラムの評価を実施する</p>		
--	--	--

No.	活動	期待する結果	2001年		2002年		03	現状と必要投入				
			2001年度						2002年度			
			I	II	III	IV			I	II	III	IV
活動表												
PDM 成果 (品) : 教育法												
1-1	ニーズアセスメントを実施する	多様な教育法が確認される										
1-2	トレーニング計画・プログラムを開発する	教育実践が体系的に実施される										
1-3	教育ガイドラインを整備する	整備されたガイドラインが教育マニュアルの基礎となる										
1-4	日本人専門家による教育法の技術移転を実施する	教員が新しい教育法を身につける										
1-5	トレーニングのためのワークショップ・セミナー活動を組織制度化する	教育実践活動の改善										
1-6	教育法に関するMLMTを開催する	教員が多様な教育法を実践する										
1-7	教育実践に関するフィードバックセミナーを実施する	教員の教育方法が改善される										
1-8	生徒による教員の教育実践評価のためのチェックリストを作成する	教育実践が改善される										
1-9	試験結果の分析を行う	教育実践改善のインパクト										
1-10	教育法の多様性に関するチェックリストを作成する	多様な教育法の使用法が改善される										
1-11	学校経営陣による教員の教育実践評価を実施する	教育実践改善のインパクト										
1-12	教育支援 (機材・教材等) 使用目標量を設定する	目標										
1-13	教育法の多様性に関する目標を設定する	目標										

No.	活動	期待する結果	現状と必要投入								
			2001			2002			03		(予算年度四半期)
			II	III	IV	I	II	III	IV		
活動表											
PDM 成果 (品) : 教育カリキュラムのレビュー・開発											
2-1	完全に機能する全学カリキュラムレビュー・開発委員会を設立する	委員の任命		12月	1月						実施予定
2-2	全学カリキュラムレビュー・開発委員会のTORを作成する	委員会の活動計画				2月					実施予定
2-3	各学部の学部内カリキュラムレビュー・開発委員会を設立する	委員の任命					3月				実施予定
2-4	学校に対するニーズのアセスメントを実施する	学校における教育カリキュラムの欠点						4月			実施予定
2-5	カリキュラムレビュー・開発面で教員のトレーニングする	教員が教育カリキュラムのレビュー・開発ができる									一部2000年に実施済みで継続予定
2-6	カリキュラムレビュー・開発活動に必要な資源を動員する	資源の活用									実施予定
2-7	カリキュラムのレビュー・開発を行う	レビュー・開発された教育カリキュラム						10月			未完成
2-8	指標となるデータ収集の調査を行う	調査報告書					6月			1月	実施予定
2-9	カリキュラムの評価を行う	評価報告書								1月	実施予定
2-10	カリキュラムレビュー・開発活動に関する報告書を作成する	教育カリキュラムのレビュー・開発に関する報告書								2月	実施予定

No.	活動	期待する結果	予算年度（日本）								現状と必要投入
			2001				2002				
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	
活動表											
PDM 成果（品）：教材											
3-1	新しい教材の調査を行う		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-2	作成する教材を決める		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-3	教材作成に必要な機材を選定する		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-4	機材を購入する		■	■			■				
3-5	機材使用に関する教育訓練をする		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-6	教員に教材の作成・開発方に関する教育訓練をする		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-7	教材を作成する		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-8	教材開発システムを確立する				■	■	■	■	■	■	
3-9	機材の予防的維持管理を組織制度化する		■	■	■	■	■	■	■	■	
3-10	教材の作成・利用状況に関するモニタリング・評価を実施する				■	■	■	■	■	■	
3-11	教材に関する現況調査を実施する		■	■							

No.	活動	期待する結果	予算年度（日本）			現状と必要投入
			FY 00'	FY 01'	FY 02'	
活動表						
PDM 成果（品）：中心知識・技術						
4-1	教員トレーニングに関するニーズアセスメントを実施する	トレーニングのニーズが確定される				2002年度分はまだ
4-2	海外教育訓練の対象となる教員を募集する	トレーニングの対象となる教員が決まる				2002年度分はまだ
4-3	各学部でトレーニングニーズを確定する	学部ごとのトレーニングニーズが確定される				終了
4-4	各学部で継続教育の短期コースを実施する	短期トレーニングコースが実施される 知識と技術が改善される				ITコースは実施
4-5	KMTC内で教員教育に必要な資源を動員する	トレーニングに必要な資源が確定し、配置される				KMTCがMLMTの費用を分担
4-6	教員の成長に適切な教育訓練機関を選定する	教育訓練機関が確定される				機関は見つかるも財源がない
4-7	各プログラムの評価を行う	各プログラムの評価報告書				
4-8	海外教育訓練のスポンサーとなる可能性のある機関の特定を行う	スポンサーが確定する				
4-9	フォローアップ調査の質問表を作成する	質問調査の結果を得る				
4-10	適切な中心知識・技術に関する標準を設定する	適切な知識・技術の標準が定められる				

No.	活動	期待する結果	予算年度(日本)		現状と必要投入
			FY 01'	FY 02'	
活動表					
PDM 成果(品) : 研究					
5-1	研究委員会を設立する	研究委員会の活動が開始される	4月		
5-2	研究手法に関する教育訓練のニーズアセスメントを実施する	アセスメント調査	11月		
5-3	研究に関する教育訓練プログラムを作成する	プログラムが作成される	12月		
5-4	研究手法に関する教育訓練を実施する(含むMLMT)	海外研修、MLMTによる研修	7月	7月	
5-5	研究報告書作成のトレーニングを実施する	MLMTによる研修		7月	
5-6	KMTCとKEMRIのKiberaでの栄養に関する共同研究を実施する	次の研究を計画する		8月(仮)	
5-7	MLMTでコミュニティーに根ざした研究に関する学習を実施する	MLMTでの研究学習		7-8月	
5-8	研究活動を実行する	財源が付き次第開始する		9月(仮)	
5-9	教員の研究実践に関する調査票を作成する(KMTC経営陣による)	質問票を完成させる	11月		
5-10	教員の研究実践に関する質問調査を実施する(KMTC経営陣による)	質問調査を実施する		1月	

No.	活動	期待する結果	1998					1999					2000					2001					2002					現状と必要投入					
			1998年度					1999年度					2000年度					2001年度					2002年度										
			IV	III	II	I	IV	IV	III	II	I	IV	IV	III	II	I	IV	IV	III	II	I	IV	IV	III	II	I	IV						
活動表																																	
PDM 成果 (品) : IT インフラ																																	
	指標1: LAN・インターネットに接続されたパソコンが教員5人に1台の割合で利用できる	入手手段1: IT機器の在庫表ならびに評価調査レポート																															
	指標2: 教員10人に1名の割合までITサポートスタッフが增加する	入手手段2: 6.2 IT活動レポート																															
6-1	ITに関する現況とニーズ調査を実施する	調査報告書																															完了
6-2	IT組織とサポートシステムを確立する	コンピューター委員会、11人配属の支援部署、手続きマニュアル																															まだ十分な人員が配属されていない。部屋、電話機、家具、機器は供与済み
6-3	基幹人員を育成する	20人の機関職員(教員に対する基本アプリケーションソフトの教授能力とコンピューター研修コースの計画・実施・運営能力を持つ)ならびに30人の補助指導員																															日本でのグループ研修: アプリケーションソフト設計、情報システム促進C/P研修; 伝染病と保健情報システム短期専門家、KMTTCコース
6-4	機材を調達する	機材、在庫表																															機器
6-5	LANを設置する	ITCによりLANが運営される																															短期専門家要請済み、C/P研修計画中
6-6	インターネットに接続する	256K回線回線、教員が電子メールとインターネットを使用する																															回線回線
6-7	支部校にITサービスを供与する	教員がITのある良い職場環境を教授する																															
6-8	KMTTCでのIT状況を評価する	調査報告書																															
6-9	MLMT活動を支援する(資機材の設営・撤去、長短期専門家の支援)	MLMTの円滑な運営、活動報告書																															

No.	活動	期待する結果	1998				1999				2000				2001				2002				現状と必要投入
			1998年度				1999年度				2000年度				2001年度				2002年度				
			IV	III	II	I	IV	III	II	I	IV	III	II	I	IV	III	II	I	IV	III	II	I	
活動表																							
PDM 成果 (品) : IT 使用能力																							
	指標 1 : ナイロビ校教員の70%がIT基礎コースを受講する	入手手段 1 : コース参加者のリストならびに成績																					
	指標 2 : ナイロビ校教員の50%がコンピューターを使用する	入手手段 2 : 評価調査報告書ならびに使用者記録																					
	指標 3 : 教員が受講可能なITコース数が増える(目標設定のこと)	入手手段 3 : 実施されたITコースの予定表																					
7-1	ITに関する現況とニーズ調査を実施する	調査報告書																					
7-2	ITコースの内容と日程を計画する	コースが運営される																					
7-3	コンピューターコースに関する教育マニュアルと標準教材を作成する	特定コースでの標準化教材																					
7-4	教員へのITコースを実施する	ナイロビ校教員の80%に基本アプリケーション研修をする																					
7-5	実習教育を実施する(HRI)	コンピューター教育能力のある教員																					
7-6	MLMTのコンピューターコースを実施する	MLMTの参加者がコンピューターを使用して首尾よくコースを終える																					
7-7	KMTCのIT使用状況を評価する	調査報告書																					

パソコン・無停電源装置等の機器、コンピューター室、情報技術学部、講師陣
機器、コンピューター室、講師陣、HRI教員

パソコン・無停電源装置等の機器、コンピューター室、情報技術学部、講師陣

ANNEX VII

No.	活動	期待する結果	2001年				2002年				03 現状と必要投入
			2001年度				2002年度				
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	
活動表											
PDM 成果（品）：教育法											
8-1	教育技術機器										
8-1-1	機器に関するニーズ調査を実施する	教員が授業に機器を実施し、カリキュラムが改善される									
8-1-2	要請をする										
8-1-3	機器を設置する										
8-1-4	在庫表に登録する										
8-2	書籍										
8-2-1	各学部よりの申請書を受け付ける	90%の教員が書籍を授業に生かす									
8-2-2	本の取得										
8-2-3	質問票を作成する										
8-3	支援施設・設備等										
8-3-1	プロジェクトミーティングを実施する										

No.	活動	期待する結果	予算年度（日本）			現状と必要投入
			00年度	01年度	02年度	
活動表						
PDM 成果（品）：MLMT						
9-1	MLMT委員会をKMTC内に設立する	MLMT委員会				定期的に開催される委員会がすべてのMLMTについて設けられる
9-2	必要な予算を付与する	MLMT予算				MLMTに割り当てられた予算
9-3	MLMTコース実施の通知を行う	参加希望者からの申請書				2002年については未だ
9-4	MLMT実施に関する現況・ニーズ調査を実施する	ニーズ報告書				ニーズアセスメントは実施
9-5	MLMTのテーマとして適切なものを特定する	MLMTでの研修				2002年のものは未定
9-6	特定テーマに関するMLMT用のカリキュラムを作成する	カリキュラム				これまでの全MLMTに教育カリキュラムが作成された
9-7	必要資機材を購入する	資機材				これまでのMLMTには資機材は供与された
9-8	実演説明・実地研修にふさわしい地区を選定する	実演説明・実地研修の対象地区				これまでの全MLMTに対象地区が用意された
9-9	MLMTプログラムを実施する	テーマに沿ったMLMT				2002年度は未だ
9-10	各プログラムの評価を実施する	評価報告書				2001年の報告書は未だ出されていない